

第2回 お茶の水女子大学 ホームカミングデイ 化学科・桜化会 OUCA 共同企画 講演会

日時： 5月31日(土) 13:00~14:20

場所： お茶の水女子大学理学部3号館7階大講義室

(東京メトロ 丸ノ内線 茗荷谷駅 徒歩7分

または 東京メトロ 有楽町線 護国寺駅 徒歩8分)

参加費： 無料

定員：180名

13:00~13:40

「日本の医薬品の承認申請

—新しい医薬品が世にでるまで—

講師： 山中 裕子氏 S48化卒

(シミック株式会社)



治験、ジェネリックス、薬剤性肝炎、トクホ、カプセル型内視鏡、MRI・・・病院や医薬品に係わる言葉を順不同にあげましたが、これらの言葉のいくつかはメディアを通じてご存知のことと思います。医薬品・医療機器が開発され国の承認を受けて、一般の病院で使われるようになるまでには、長い年月と膨大な金額の資金が必要となります。当然ながら、新薬の開発から承認がおきるまで係わるのは医薬品メーカーだけでなく、様々なビジネスが発生してきました。「なぜ、同じ医薬品なのにジェネリックスは安く売ることができるのか」など、身近な問題を絡めて、日本の医薬品の承認申請の流れをビジネスの現場から、お話ししたいと思います。

13:40~14:20

「放射能研究に殉じた人々

—キュリー夫人と

山田延男博士を中心に— (仮題)

講師： 富田 功先生 (お茶の水女子大学 名誉教授)



講演会終了後、会場を移して
茶話会を開きます。

(会費：無料)

場所：理学部1号館4階

<お問い合わせ>

桜化会 OUCA

メール：ouca@cc.ocha.ac.jp

Tel & Fax：03-5978-5290

〒112-8610 文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学化学教室内

